

内閣府男女共同参画局

人生100年時代の結婚と家族に関する研究会

# 日本家族の現状とこれから

2021年5月18日  
中央大学 教授 山田昌弘

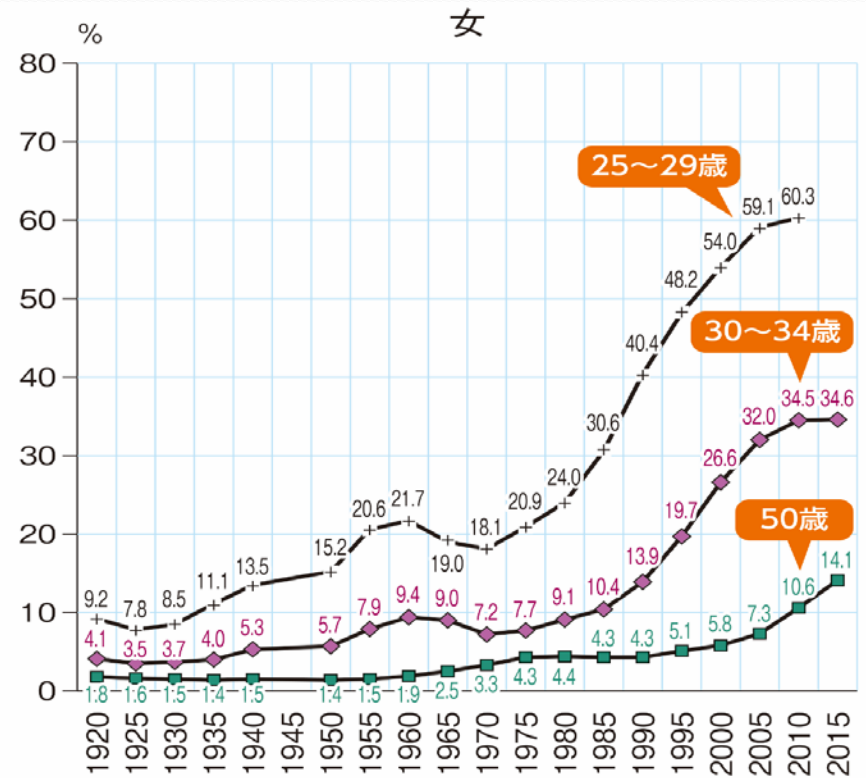
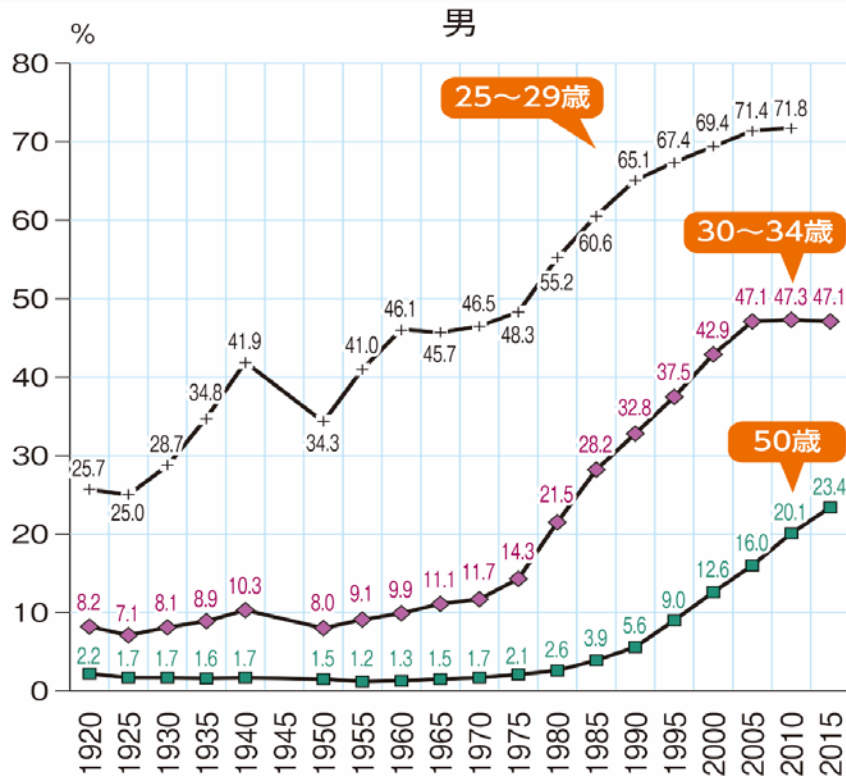
# 1.はじめに

## ■21世紀の日本家族

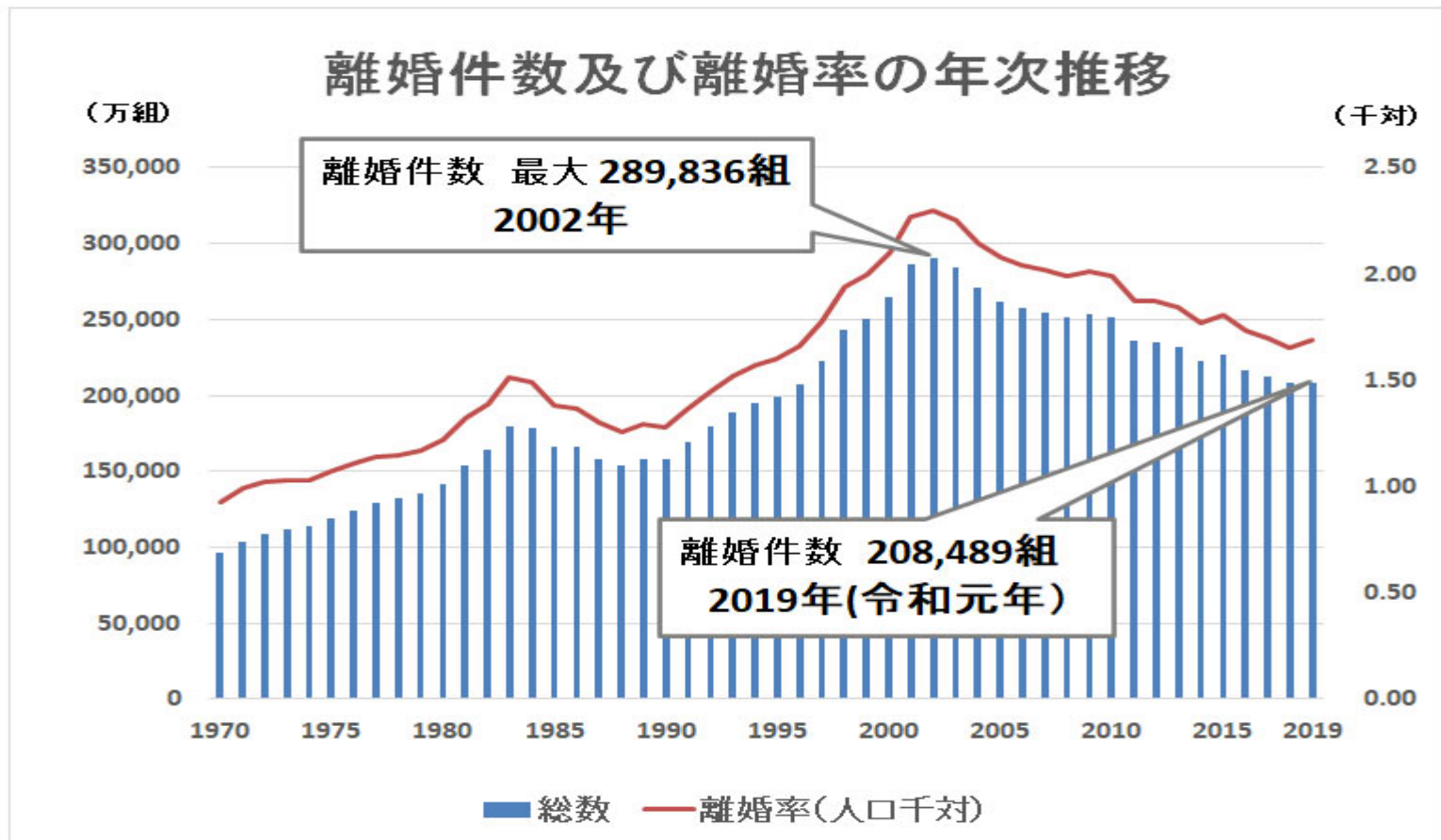
- 今の30代（2050年の60代）以下の若者  
生涯未婚確率25%、無子率40% 離婚経験率35%
  - \* 今の若者結婚して離婚しない人 二人に一人  
更に、子どもをもって亡くなる人40%
  - \* 「孤立」して高齢を迎える人 4割になる
- cf. 今の70代（未婚率3%、離婚経験率10%程度）

# 1. はじめに 未婚化の進展

## ● 未婚率の推移



# 1. はじめに 離婚の推移



# 1.はじめに

## ■21世紀の日本家族

「幸福な家庭はどれも似たものだが、不幸な家庭はいずれもそれぞれに不幸なものである」

(トルストイ『アンナ・カレーニナ』中村融・訳)

- 典型的な家族（戦後型家族）を作り維持できる人と、そうでない人への分裂、後者の増大
- 典型的な家族生活の外形 変わっていない  
形成・維持不可能な人が増加し、事前に予測不可能（リスク化、不確実化）
- 典型的な家族の中身も行き詰まっている  
典型的な家族を作り、維持するために愛情を犠牲に

# 1.はじめに

■格差を伴い、多様化、リスク化、不確実化していく

- 共時的多様化 様々な形態の家族が並存

例、30代 一人暮らし、親同居未婚、夫婦世帯、親同居ひとり親、ひとり親

- 通時的多様化 様々な形態の家族を経験

例 上記の世帯を一人で次々と経験することも

# 1.はじめに

■ 戦後型家族システムの行き詰まり示している

\* 経済的に行き詰まり

経済的に戦後家族が形成できない

未婚の増大、離婚の増大、

\* 心理的に行き詰まり

戦後家族を作ることが幸せを保証しない

データ婚活、恋愛の衰退、家庭内離婚、セックスレス、――

## 2. 戦後型家族の形成

### ■ 近代社会の家族の機能

家族 「自分を必要とし、大切にしている存在」

#### ● 生活保障（経済、ケア）の単位

家族は生活を共同する

\* 家族がいれば、人並みの生活が送れる

\* 家族がいればいざとなったときに助けてくれる

#### ● アイデンティティの保証（愛情の場）

\* 家族がいれば寂しくない、居場所がある

アイデンティティ = 居場所



## 2. 戦後型家族の形成

### ■戦後型家族（高度成長期家族）

- 「夫は主に仕事、妻は主に家事（ケア）で、豊かな生活をめざす」

\* 豊かな生活の中身

住宅、家電新製品、子の教育、家族レジャー \*

性別役割分業が原則      家計—「夫」に依存

## 2. 戦後型家族の形成

### ■戦後型家族を形成維持できる「条件」1 経済

- ライフコース予測可能（社会的に、個人的に）  
ほとんどの人が結婚し、離婚せず、子どもを育てた
- 男性（夫）の収入の安定、上昇の見通し

⇒ 前提

ほとんどすべての男性が、定職に就いていた  
（収入が上がる正社員、保護された自営業者）

## 2. 戦後型家族の形成

### ■戦後型家族を形成維持できる「条件」2 愛情

- 愛情の役割分業

お金を稼いで生活を支えることが「夫－父の愛情」

家事、ケアをすることが「妻－母の愛情」

勉強してよい学校に行くことが「子どもの愛情」

\* コミュニケーションがなくても愛情があると思い込むことができた（一生）

夫婦が互いに不可欠な存在と信じることができた

## 2. 戦後型家族の形成

### ■自動的に豊かな家族が形成

- 将来のライフコース「**予測可能**」

結婚容易、離婚少ない⇒ ライフコース計画可能

- 家族形態と夫の収入が「**予測可能**」

夫（自営業含む）の収入が安定しており、上がり続ける

生活設計可能

（結婚生活、住宅取得、子どもの学費、家族レジャー）

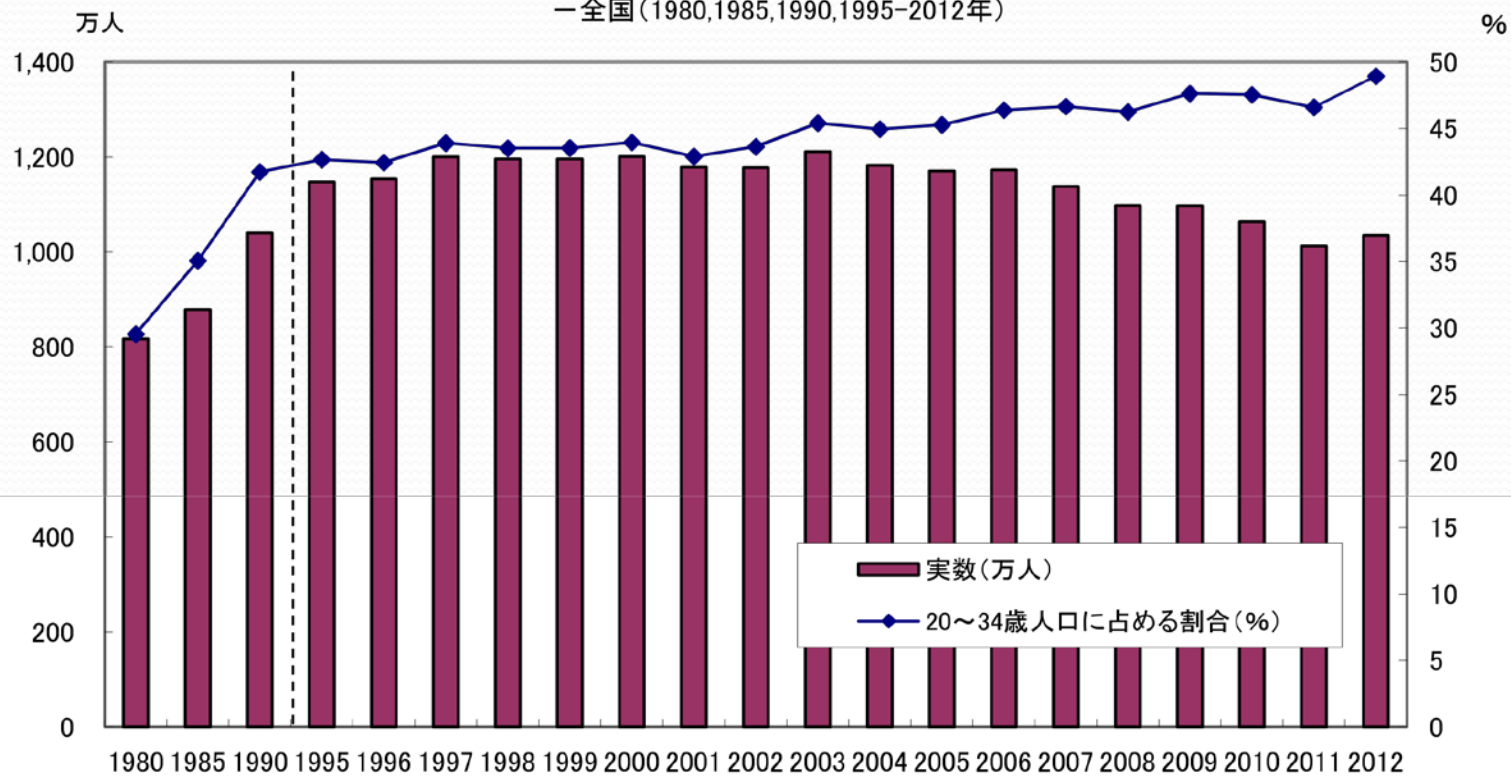
## 2. 戦後型家族の形成

### ■低成長期（オイルショック後）の変容

- 若年男性の収入の伸びが鈍る  
(1973-1995)
- 晩婚化 男性の収入が高くなるまで待つ  
(パラサイト・シングルの出現と増大)
- 既婚女性のパート労働者化 収入の伸びを補う  
(正社員の既婚女性 ほとんど増えない)
- 「豊かな生活をめざす性役割分業の家族」  
の基本は崩さず、微修正の時代

# 若年未婚者の推移

図1 親と同居の若年未婚者(20~34歳)数の推移  
—全国(1980,1985,1990,1995-2012年)



注) 上図は各年とも9月の数値である。

年

# 3. 格差社会と家族のリスク化

## ■ニューエコノミーの進展（1995-）

- 豊かな社会（IT産業、サービス化、文化産業、グローバル化）
- 職の二極化（安定職と、不安定な職に分裂）
- 男性収入の二極化と予測不可能性
  - 若年の非正規雇用率の高まり
  - 硬直的な労働慣行（新卒一括、終身雇用）
- 自営業の衰退 ← 規制緩和

# 3. 格差社会と家族のリスク化

## ■未婚化、離婚の増大

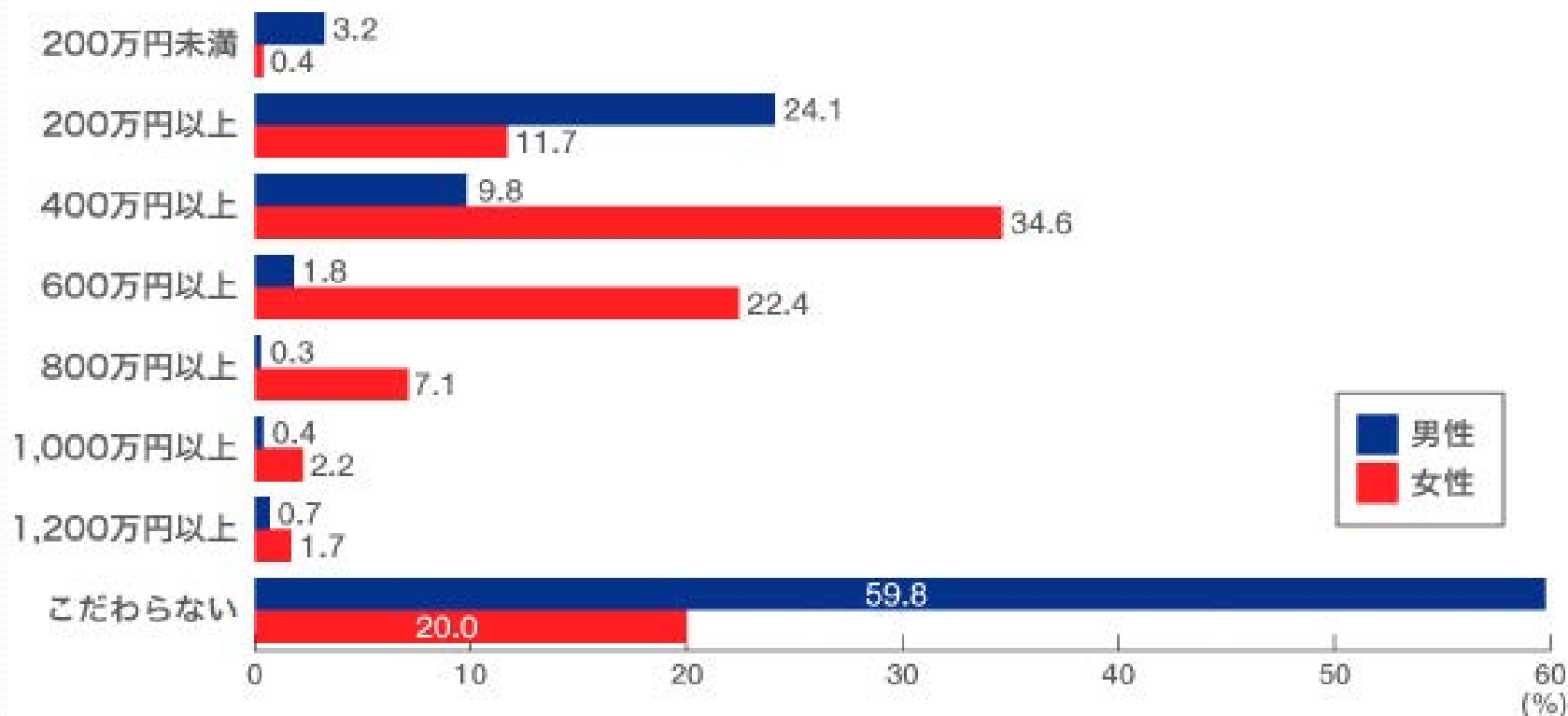
(人口減少、未婚社会、無縁社会)

- \* 原因：「一人の収入では妻子の豊かな生活を支える見通しが立たない」男性が増える
- 固定的役割分担意識の残存（男性が主に稼ぐ）
- 未婚者は親同居（パラサイト）が一般的  
理想の相手が来るまで待てる  
(親が生活と心理的保証をする)
- 夫が経済破綻 離婚した方がまし



# 結婚相手に望む年収と現実の未婚男性の年収の比較

## 結婚相手に望む年収



## 現実の未婚男性の年収



出所：明治安田生活福祉研究所・「生活福祉研究」号。データは2009年の「結婚に関する調査」（全国ネット20～39歳、4120名の未婚者が回答）

### 3. 格差社会と家族のリスク化

#### ■ライフコースの不確実化

- 結婚したくてもできない

いつするか分からない

- 結婚していたくてもできない

いつまでしていただけるか分からない

# 3. 格差社会と家族のリスク化

## ■若者世代における家族形成の分解

経済力、魅力による階層分化が現在進行中

### ①典型的家族を作り維持する層

量的に減少する

### ②典型的以上を作れる層　そもそも少数、増えない

夫婦フルタイム共働き

高収入男性－セレブ主婦

### ③典型的家族からはみ出る層

不安定既婚子持ち層（できちゃった結婚－約2割）

親同居未婚層（将来の貧困予備軍）

親にパラサイトできない低収入未婚、離別層

\*何かのきっかけで生活が破綻する

（夫の失業、収入低下、自営業破綻、長期的病気）

### 3. 格差社会と家族のリスク化

#### ■ 典型的な家族からはみ出る層の増大

#### 社会は想定していない

- ① 正社員になれない男性、自営業で生活できない男性の存在を想定していない

特段の事情なくフルタイムいても家族を養う収入が得られない男性

- ② 正社員や安定した自営業者と結婚できない女性

- ③ 低収入で子どもを育てる夫婦 ← 出来ちゃった結婚

### 3. 格差社会と家族のリスク化

#### ■ 愛情の役割分業の行き詰まり

\* 性別役割分業家族—お互いが必要であると思いつむことができた

夫婦のコミュニケーション不要

\* 豊かな社会、共働き化、子育て後の長期化

**コミュニケーションによる夫婦関係の二極化**

コミュニケーションが活発な夫婦

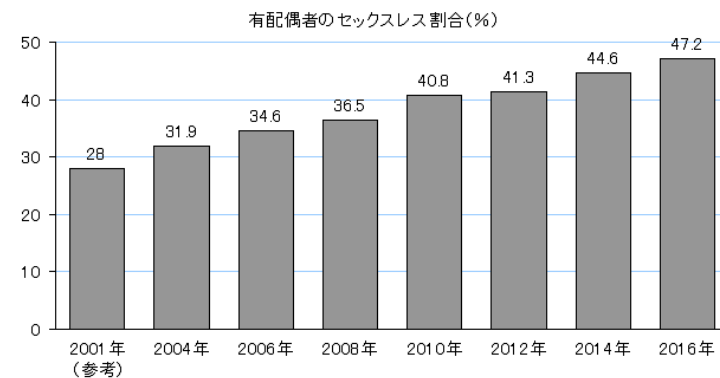
コミュニケーションなき夫婦の出現

(夫婦外の親密・性関係、セックスレス)

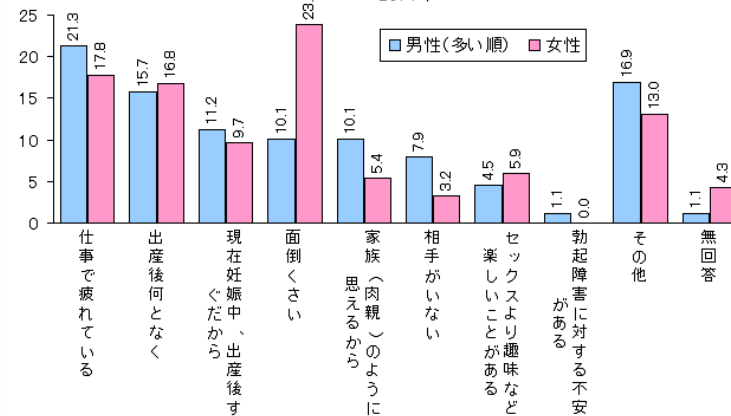
## セックスレスの進展

- 2000年以降のセックスレスの増大  
2020年の調査結果で50%を超える  
(日本家族計画協会 16-49歳対象)  
→ 出産適齢期の夫婦の約半数が  
セックスレス

セックスレス夫婦の動向



セックスレスの有配偶者がセックスに対して積極的に成れない理由(択一回答) 2014年



(注) セックスレス割合は「この1カ月間は、セックス(性交渉)をしなかった」の回答率。2001年は朝日新聞インターネット調査「夫婦1000人に聞く」、2004～2016年は第2～8回「男女の生活と意識に関する調査」による。2016年の「第8回男女の生活と意識に関する調査」は全国の16～49歳男女3000人を対象に訪問留置方式で実施された(回収率46.8%)。

(資料) (社)日本家族計画協会

## 4. 家族の将来

### ■ 若者 将来生活が予測不可能に

例：親にとっても 未婚の子 結婚するのか、いつ結婚するのか、離婚して戻るか分からない

例：夫（男性）の収入 安定して上昇するとは限らない

例：離婚するか、いつするか分からない

## 4. 家族の将来

### ■ 格差を伴って世代進行

現在 格差があるのは若年者

今後 中年から高齢に格差が及ぶ

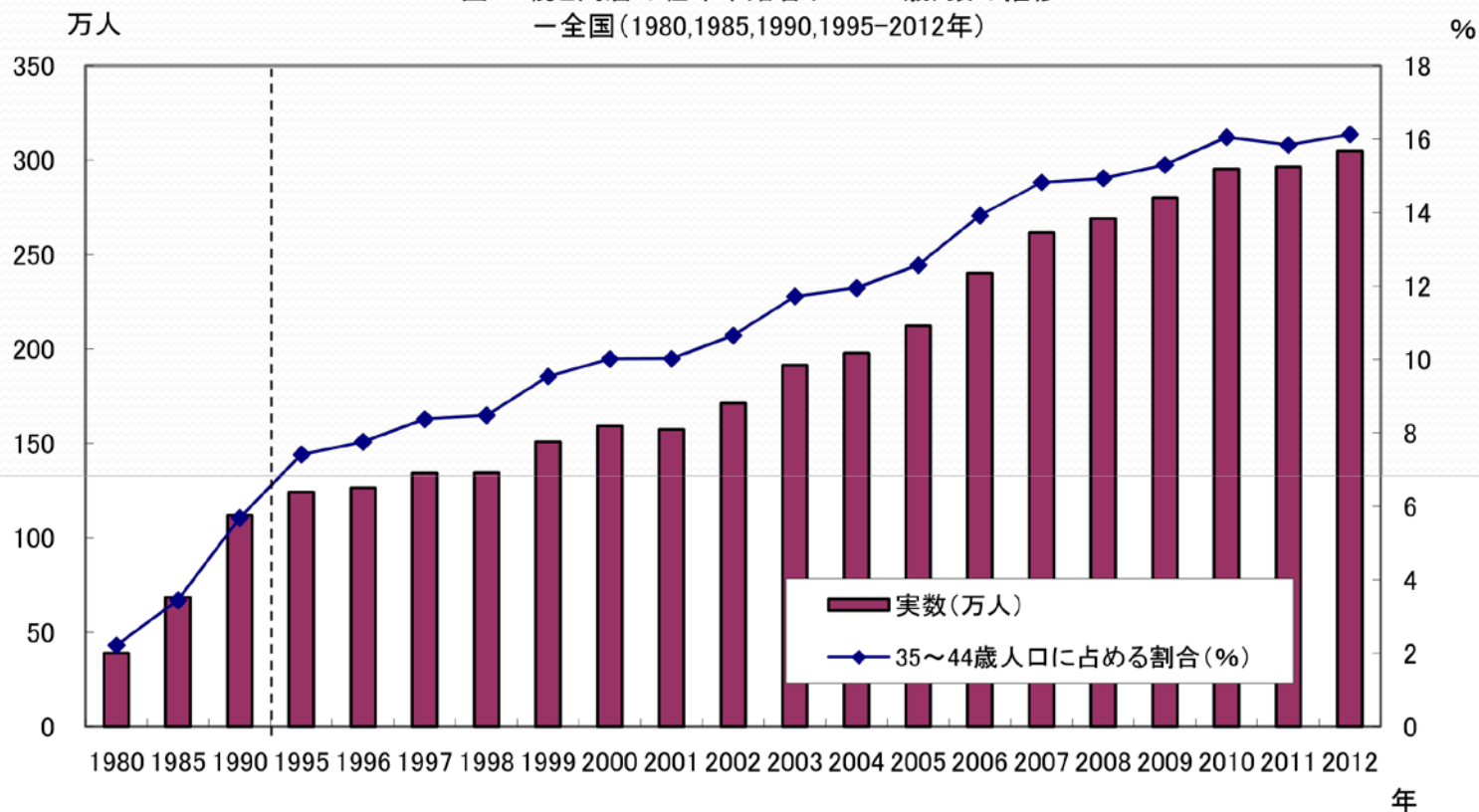
非正規雇用者が若者から中高年に進行

パラサイトシングルの高齢化



# 壮年親同居未婚者の増大

図2 親と同居の壮年未婚者(35~44歳)数の推移  
—全国(1980,1985,1990,1995-2012年)



注) 上図は各年とも9月の数値である。

## 4. 家族の将来

### ■ 壮年親同居未婚者の現在

2015年 35-44歳の親同居未婚者 308万人

失業率 10%、無職率10%

非正規率高い 2-3割 (非正規の男性結婚相手として選ばれにくい、女性 非正規多い)

\* 親の年金で暮らしている 将来見通しなし

\* 高齢者虐待の温床  
世話できない同居の中年息子

## 4. 家族の将来

### ■ 生涯未婚者の未来

家族が存在せずに、高齢に突入する人の増大

\* 親の年金で暮らしている親同居未婚者

親が亡くなるとまともな生活できない

→ 親の死を隠す事件

\* 高齢者犯罪の増加

(家族がない-抑止効果なし)

\* 本人たちの世話(見守り)を誰がするか？

例 ー 献体希望者の増加

## 4. 家族の将来

- 保守化する若者たち ここ10年  
内側に入れば — 典型的家族を形成できればとりあえず安心  
内側からこぼれれば — 典型的家族を作れなければ不安定（ワーキングプア予備軍）

恋愛不況 パートナー形成 減少

結婚できる相手でないと言愛しない、無駄、面倒

就活、婚活の興隆

内側に入ろうと必死に努力する  
専業主婦志向が若者で増大 — 正社員と早く結婚するための努力  
婚活となってしまっている。

# 恋愛の衰退1 交際相手がいる未婚者率の低下

- 表 独身者で交際相手をもつ率の変化 18歳-34歳
- (国立社会保障・人口問題研究所 出生力調査より 数字%)

	1992	1997	2002	2005	2010	2015
男性						
● 恋人あり(含む婚約者)	26.3	26.2	25.1	27.2	24.6	21.3
● 交際中異性の友人有り	19.2	15.3	11.3	14.0	9.4	5.9
女性						
● 恋人あり(含む婚約者)	35.5	35.4	37.0	36.7	34.0	30.2
● 交際中の異性の友人有り	19.5	15.9	12.4	12.9	11.9	7.7

## 恋愛の衰退2 性体験がない未婚者割合の増加

	1992	1997	2002	2005	2010	2015
<b>男性</b>						
18-19(年齢)	70.9	64.9	64.2	60.7	68.5	72.8
20-24	43.0	42.5	35.8	33.6	40.5	47.0
<b>女性</b>						
18-19	77.3	68.3	62.9	62.5	68.1	74.5
20-24	53.0	42.6	38.3	36.3	40.1	46.5

(出生動向基本調査 国立社会保障人口問題研究所 2015年より)

# 4. 家族の将来

## ■ バーチャルな親密関係への逃避

典型的家族（戦後型家族）を形成、維持できない人

典型的家族を形成していてもコミュニケーションがない  
夫婦

### \* バーチャルな親密性に逃避

家族ペット、アイドル、二次元、

### \* 家族外の人に親密性を求める、購入する

キャバクラ、ホストクラブ、性風俗産業、不倫

## 結婚、恋人外の親密関係の広がり

次のような関係を恋愛対象にしていますか

A ペット B アイドルやタレント、スポーツ選手など C アニメ、ゲーム等のキャラクターなど  
D キャバクラ・メイドカフェ・ホストクラブ  
E 性的サービス産業

	A	B	C	D	E	(1つ以上)
30代前半未婚男性	3.3	12.5	13.8	9.8	13.7	(30.8)
既婚男性	4.1	11.8	5.8	13.1	14.6	(28.4)
未婚女性	7.2	16.1	12.0	0.8	0.8	(27.1)
既婚女性	2.2	13.9	7.4	1.4	1.1	(19.9)

## 行き場を失った親密欲求、性欲求はバーチャル、買うものに

表 明治安田生命生活福祉研究所2017年実施「男女交際・結婚に関する意識調査」  
ネットモニター(18-34歳 表示は30代前半のみ、サンプル10304)



## 4. 家族の将来

### ■ アンダークラス化の兆候

まともな仕事からも、まともな結婚からも排除される若者  
パラサイトできないで、低収入で自立せざるをえない若  
者の出現

親が安定的でない状況で育った若者  
(貧困の連鎖)

職で自立できず、親にも頼れず、(女性一定職に就いた相手と結婚できず)

## 4. 家族の将来

- 階級社会化？無縁社会化？ というディストピア  
今後、典型的家族（戦後型家族）を形成、維持できなかった中高年の増大
- 日本社会の前提 家族主義  
家族が存在することが前提  
家族の中で生活できる収入を稼げる人がいることが前提
- 家族がない中高年 孤立化  
（孤独死 現在 年3万人 ほぼ未婚者率に相当）  
50年後、年50万人規模で孤立した高齢者が亡くなる

# 5. 新しい家族の可能性

■ディストピアを防ぐには

## 戦後家族モデルからの脱却が必要

家族 「自分を必要とし、大切にする存在」  
生活上の頼りであり、心理的な頼りである

現実には、戦後家族モデルを作れない人が増えている  
戦後家族を作っても、愛情を感じられない人が増えている

- 家族を形成しやすくする 多様な家族モデルを
- 家族が不安定でも、いなくても、孤立せず、  
貧困に陥らないような生活のあり方

# 5. 新しい家族の可能性

- 家族を形成しやすくする  
→ 家族の多様化を進める

「夫が主に稼ぎ、妻が主に家事」というモデルを離れる

同性結婚、一人親、再婚家族、シニア結婚、養子  
共働き、専業主夫家族、きょうだい世帯――

- \* 様々な形の信頼関係がある「家族」を認め、サポート  
社会保障による下支え、労働慣行の是正  
結婚支援（中高年の結婚支援）養子等の法整備

# 5. 新しい家族の可能性

- 家族がいなくても大丈夫にする 多様な生活形態  
→ 家族でなくても生活でき、居場所がある、そして、親密性が満足できる関係

シェアハウス、グループホーム、友人共同体  
バーチャル（擬似）家族 ペット、AIロボット、  
レンタルフレンド

\* 経済的自立や社会保障の下支え、法的整備

ご清聴ありがとうございました

